

本会議から付託された議案 16 件を審査するため、平成 28 年 3 月 10 日に文教福祉委員会を開催しました。

議案第 19 号 総社市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

～内容～

厚生労働省令の基準が改正されたことに伴い、関係条文の整備を行おうとするもの。

～結果～

質疑、討論もなく採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第 20 号 総社市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について

～内容～

厚生労働省令の基準が改正されたことに伴い、関係条文の整備を行おうとするもの。

～結果～

質疑、討論もなく採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第 21 号 総社市昭和地区英語特区に係るスクールバス等の運行に関する条例の廃止について

～内容～

昭和地区英語特区の学校園へ通学及び入園区域外から通う児童等の登校、登園支援のため、平成 27 年度からスクールバスの運行を開始したが、運行状況、費用対効果及び利用者負担について検討した結果、平成 28 年度からスクールバスの運行を取りやめることとしたため、根拠条例を廃止しようとするもの。

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：スクールバスを廃止するにあたりどのような検討をしたのか。

答：乗車人数が1日平均10人程度であり、1人月額2,000円の利用者負担で、バスの運行に係る年間委託料568万5,000円を回収するに至らず、見直しを検討した。

問：保護者からスクールバスの継続を希望する意見はなかったか。全員が納得しているか。

答：春頃から個別に事情を説明してきたこともあり、会議では不満の声はなく、子どもがどうやったら安全に登校、登園できるかという意見が交わされた。

問：来年度からはどうするのか。

答：保護者と市において経費の役割分担をする。JRの運賃は保護者負担とし、登校、登園支援に係る経費は市の負担とし、年間約60万円を計上している。

議案第22号 総社市公民館条例の一部改正について

～内容～

昭和公民館及び昭和公民館日美分館を移転新築し、平成28年4月から供用開始することに伴い、関係条文の整備を行おうとするもの。

～結果～

質疑、討論もなく採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第23号 総社市教育施設使用料徴収条例の一部改正について

～内容～

昭和公民館の移転新築及び総社市図書館の施設改修に伴い、関係条文の整備を行おうとするもの。

～結果～

質疑、討論もなく採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第 24 号 総社市図書館条例の一部改正について

～内容～

カラー複写サービス開始に伴い、関係条文の整備を行おうとするもの。

～結果～

質疑、討論もなく採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第 25 号 総社市体育施設条例の一部改正について

～内容～

清音ふるさとふれあい広場内のふれあい亭を改修し、平成 28 年 4 月から供用開始することに伴い、関係条文の整備を行おうとするもの。

～結果～

質疑、討論もなく採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第 30 号 平成 27 年度総社市一般会計補正予算(第 6 号)

～内容～

本委員会の所管に属する部分は、事業費の確定及び確定見込みによる補正のほか、地方創生加速化交付金の対象事業を行うための経費の増額が主なもの。

～結果～

次のような審査の結果、本委員会の所管に属する部分は、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：子宮頸がん予防ワクチンのリスクによる接種控えにより手数料が減額となっている。リスク説明は十分行っているのか。また、子宮頸がんにならないための啓発活動は行っているのか。

答：年 1 回、広報と一緒に配付している健康カレンダーの中で注意事項等を掲載している。また、現在、国において救済制度の整備を進めている。また、啓発活動の重要性も認識しており、昨年秋「原 千晶」さんをお招きして講演会を実施した。

問：高齢者住宅等手すり・段差解消支援助成金の 1 件あたりの上限はいくらか。また、介護保険の給付事業、単市事業の住宅改造助成事業の上乗せ給付はできるか。

答：1 件あたりの上限は 10 万円である。また、この事業は、介護保険の給付事業や単市事業の住宅改造助成事業の対象から外れる人を対象としているため上乗せ給付はできない。

問：高等技能訓練促進費の内容と対象人数はどうか。

答：高等職業訓練促進給付金の事業であり、ひとり親家庭の経済的自立に効果の高い看護師、介護福祉士、保育士等の資格取得のために 2 年間以上養成機関等で勉強することに伴い、生活の負担の軽減を図るための給付金の支給である。今年度は申請者が 5 人おり、予算計上は 4 人分であったことから増額補正する。

議案第 31 号 平成 27 年度総社市国民健康保険特別会計補正 予算（第 3 号）

～内容～

保険基盤安定繰入金の確定及び保険給付費の増額に伴う補正が主なもの。

～結果～

質疑、討論もなく採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第 32 号 平成 27 年度総社市後期高齢者医療特別会計補 正予算（第 1 号）

～内容～

保険基盤安定繰入金の確定に伴う補正。

～結果～

質疑、討論もなく採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第 33 号 平成 27 年度総社市介護保険特別会計補正予算 （第 5 号）

～内容～

介護保険システムの修正委託料の増額及び所要額見込みによる介護給付費等の予算の組替えに伴うもの。

～結果～

質疑、討論もなく採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第 40 号 平成 28 年度総社市国民健康保険特別会計予算

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：単市施策である小児医療費の無料化を推進することに伴い、国の交付金が減らされていると思うが、いくら減額を見込んでいるのか。

答：約 400 万円の減額を見込んでいる。

問：医療費抑制のため健康づくりPRが必要と考えるがどうか。

答：健診分析を地区別に詳細に行っていこうと考えている。その結果を地区に返し、地区と一緒に健康づくりの取組、医療費抑制の方策を考えていきたい。

問：ジェネリックの差額通知は誰に対して通知しているのか。

答：利用者に「薬をジェネリックに変えたら医療費がこれだけ安くなる可能性があります。」というお知らせを行い、医療機関や薬局に相談してくださいと伝えている。また、医療機関等に相談しにくいという声もあるので、相談しやすくするためポスターを作成し、医療機関等に貼っていただきたいとお願いしている。

議案第 41 号 平成 28 年度総社市後期高齢者医療特別会計予算

～結果～

質疑、討論もなく採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第 42 号 平成 28 年度総社市介護保険特別会計予算

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：高齢者把握事業委託料の内容はどうか。

答：特定高齢者や見守りの必要な高齢者に対する支援のため、第 1 号被保険者を対象に生活機能に関する状態を把握するための調査を、国が示す基本チェックリスト 25 項目を用いて実施している。委託金額については、1 件あたり 2,700 円で実績に応じて支払っている。

問：高齢者把握事業で、特定高齢者や見守りが必要な高齢者を把握した後、サービスに適切に結び付けているか。

答：見守りが必要な高齢者として、地域包括支援センターの訪問を行いながら、地域での見守りを行い、サービスが必要な時期に必要なサービスを提供していきたい。

問：ひとり暮らしの男性は外へ出にくい傾向があると思うが、それに対する取組はどうか。

答：役割を与えられればという男性の特性を活かし、75 歳社会の実現に効果と期待をしている。

同意第 1 号及び同意第 2 号

教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて

～内容～

本市の教育委員会委員 2 名の任期が平成 28 年 5 月 11 日で満了することに伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 4 条第 1 項の規定により、選任しようとするもの。

～結果～

質疑、討論もなく採決の結果、全員一致で**同意**すべきであると決定。